

アイデアブック みんなの公園 IBARAKI



「やってみよう！」が実現する公園へ



公園でできることは、 もっとあります。

身近なオープンスペースである公園は、
実はできることがたくさんある貴重な
地域資源です。

もっと居心地のいい公園に。
もっとつながりが生まれる公園に。

公園が変われば地域も変わる。
公園でのつながりは、地域に広がり
地域を活性化します。

この冊子で、公園の魅力と可能性を再発見し、
みんなの公園を育てるヒントをぜひ見つけて
ください。

公園で、 どんなことが できるかな？



公園でできること、できな
いことがよくわかりません。

→ 3・4 ページ

大きな公園のあちこちで
いろんなことができそう。

→ 5・6 ページ

体験コーナーやマルシェ
を集めた公園イベントは
みんな楽しめるね。

→ 7・8 ページ

公園で焼き芋を焼いて
みたい。

→ 9・10 ページ

落ち葉や剪定枝を何か
に生かせないかな。

→ 11 ページ

近所の公園で
花火ができるといいのに。

→ 12 ページ

みんなで話し合っ
て、公園でやってみようよ。

→ 13・14 ページ



公園でできること、 できないことの決まりごと。

公園は、誰もが気軽に立ち寄れる、みんなの共有スペースです。日々の健康づくりや、家族でのんびり過ごすひとときなど、様々な目的で多くの方にご利用いただいています。

そんな大切な公園を、みんなで気持ちよく、そして安全に利用できるよう、いくつかの大切なルールがあります。たとえば、ラジオ体操やピクニックなどの個人的な利用は、基本的に自由にお楽しみいただけます。

しかし、公園によっては「〇〇禁止」などの看板が設置されていることがあります。これらは特定の利用マナーの問題などから、地域との話し合いによって設けられた公園ごとのルールです。

また、特定のグループだけで公園を占有するなど、他の利用者が利用できなくなる使い方はできません。みんなの公園であることを忘れずに、譲り合ってください。

そのほか公園で行うにあたって、事前に手続きが必要な行為もあります。

- ①物品の販売（キッチンカー、マルシェなど）
- ②募金活動
- ③営利目的としての写真または映画の撮影
- ④人が集まるイベント など

その場合は、隣接する住民の迷惑にならないこと、他の利用者や地域住民の理解が得られること—などの要件を満たす必要があります。

※詳細は「茨木市都市公園条例に基づく行為の許可に係る運用基準」（うら表紙「資料」参照）をご覧ください。

公園でできることには、
「手続きなしで利用できること」●
「事前に手続きが必要なこと」■

のほか、
「地域で話し合えば実現できること」◆（次ページ参照）
の主に3つあります。



条例によって禁止されていることもあります。

- ・公園施設を壊したり汚したりすること
- ・樹木や植物を採取すること
- ・鳥・動物・魚を捕獲すること
- ・はり紙、広告を表示すること
- ・立ち入り禁止区域に入ること など

（茨木市都市公園条例）



一人の「やってみたい」アイデアの中には、みんなで考えることで実現に近づくものもあります。



「こんなことできたらいいな」を、 地域の人みんなで話し合ってみた。

「夜にあかりがあると歩くのも安心」
「公園で花火はできないのかなあ」
「公園が地域の交流の場所になったらウレシイ」

地域のなかから生まれてきた「できたらいいな」を、地域のなかで相談してみませんか？

「私もそう思った！」「できるかどうか試してみよう」という人が集まって、公園を利用する人も近隣の住民もお互いが心地よく過ごせるカタチを見つけられるかもしれません。

茨木市内の公園では、竹灯籠やイルミネーションで夜道を照らしたり、公園で手持ち花火をしてみたりと、「できたらいいな」が少しずつカタチになっています。



茨木市では、公園のルールをみんなで考えて「やってみよう！」を実現する「みんなで育てる公園プロジェクト」に取り組んでいます。

そうか、公園って、もっといろんなことができるんだ。

そう思って…



大きな公園

公園を歩いてみると、いろいろなアイデアが生まれます。

-手続きなしで利用できること
-事前に手続きが必要なこと
- ◆地域で話し合えば実現できること



●公園で聞けるいろいろな音を拾う、フィールドレコーディング。

●水辺をきれいにしながら生き物観察。

●ごみを拾いながらジョギングやウォーキング、筋トレ。

●愛犬と一緒に公園を楽しむ。

●ウォーキングコースに見立てて、歩数当て競争。

●家族の記念写真を撮りに行こう。

■カメラマンによるポートレート撮影会。

■いろいろなニュースポーツを楽しむコーナーを作って、多世代で1日楽しむイベント。

■BMX、スケボーのエキシビジョンショー。

◆地域で防災キャンプができないかな。

■星の下、または青空の下で野外映画観賞会。

■フリーマーケットをしたい！キッチンカーや屋台の出店も。

■いろいろな楽器の演奏を聞く音楽イベント。

■得意な料理、飲み物でチャレンジカフェができる場所にする。

西河原公園で、誰でも参加できる「レクリエーションピクニック」をやってみました。

(西河原公園にぎわい企画実行委員会)
(旧) 西河原公園活用実行委員会



音楽コーナー

きっかけ

公園で活動したい市民が集まった公園利活用ワークショップで、「公園でやってみたいこと」を出し合いました。

いろいろな「やりたい」が集まったので、西河原公園で「体験できるウォークラリー」を開催することに。準備を進める中で、競う要素がなくてものんびり公園を楽しめるほうがいい、と「レクリエーションピクニック」の名称になりました。

その後、西河原公園ではいろいろな市民イベントが開催されています。

2025年4月20日
レクリエーションピクニック

2025年6月28日
みんなとつむぐ音楽会 in 西河原公園
(西河原公園活用実行委員会・yoriai 主催)

2025年11月8日
むすびっこマルシェ 2025 (西河原公園にぎわい企画実行委員会主催／三島地域まちづくり協議会・MUSUBIYA 寺こや共催)

2026年1月11日
見たことのない西河原公園
(追手門大学地域創造学部今掘ゼミ主催／三島地域まちづくり協議会共催)



出店コーナー



おそとのアトリエ



おまめのひっこし



ケイドロ



子どもたちに
大人気!

手作りスマートボール



ミニらいとモルック



竹灯笼は長年の願いでした

自治会や地域まちづくり協議会で活動しています。かつてはホテルを育てて夏に鑑賞会が行われていた西河原公園で、私たちは「ホテルを守る会」を作り毎月公園清掃をしていました。ホテルの飼育がなくなったとき、代わりの取り組みとして竹灯笼設置を検討しましたが、当時は火を使うためできなかった。1月にLEDの竹灯笼が並び、感動しました。

地域自治組織はやるべきことが多く忙しい。地域外の人を含めて、やりたいことがある人が手を挙げてくださるのはとてもありがたいことだと思います。(大島一夫さん)



公園でつながり、孤立しにくい地域に

「MUSUBIYA 寺こや」という団体名で、多世代交流やまなび合いの場づくり、イベント開催などを地元の西光寺でしています。「公園でも活動できないかな」という思いが、レクリエーションピクニックで実現しました。

実行委員会もイベント当日も、新たな出会いがたくさんありました。顔見知りが増えれば孤立しにくい地域になります。開放的で参加しやすい公園の力を感じ、その後もいろいろな機会に西河原公園を活用しています。(櫻井久美さん)



通り道だった場所が「使える空間」に

フィールドワークで西河原公園を歩いてみて、「通り道」だった場所が「使える空間」であることに気づきました。「おそとのアトリエ」の水彩画で使う水道と排水をどうするか、音楽コーナーの電源をどこから引くか。そんな視点で見直したら、公園にあるもの・足りないものも見えてきます。

手探りで計画を進めましたが、メンバーそれぞれの個性や人脈がうまく生かされて実現に至りました。ゆるいつながりで協力し合う関係が心地よかったです。(木村威英さん)



市外から参加、活動や交流が広がった

大学院での研究テーマとして公園の活用に関心があり、レクリエーションピクニックの企画・運営に参加しました。僕は市外の住民で、グループ内では年下。少し不安でしたが、ミーティングを重ねるうち気にならなくなりました。

自分が比較的得意と思った会議録作成や企画内容のとりまとめなどを申し出て、裏方的なことを中心に担いました。経験が研究に生かされただけでなく、別の活動につながったり交流が続いたりなど、世界が広がりました。(井下晃介さん)



やりたいことを話すうち「できるやん！」

子どもたちの遊び場として、普段から西河原公園を利用しています。公園で本当にこんなイベントができるとは思っていませんでしたが、「やるとしたら」でコーナーの区分けやチラシ案を考えるうち「できるやん！」という気持ちになりました。公園は誰もが利用する場所なので、「子どもだけのイベント」にならないよう気をつけました。

高齢の方や若者、社会人などいろいろな方が来てくださって、よかったと思います。(森口さゆりさん)



小さな公園

近隣の人たちが使う公園で
やってみたいこと。

- ……手続きなしで利用できること
- ……事前に手続きが必要なこと
- ◆ ……地域で話し合えば実現できること

■ モルック（木の棒を投げて木製のピンを倒すゲーム）大会。

◆ もちつき大会などの地域行事をしたい。

■ すべり台などの高低差を使った流しそうめんイベント。茨木の竹を使う。

● マイチェアかマイ座布団と弁当を持って、昼食会。

■ ハロウィンイベント。仮装で集まった子どもにお菓子を配る。

◆ 「禁止」の看板を、ポジティブなコピー・デザインにできないか話し合う。

◆ イルミネーションで飾る。

やわらかいボールで
ボール遊びができます

◆ 落ち葉を集めて焼き芋大会。

● みんなで草刈りや掃除をして公園を使いやすくする。

◆ ボール遊びができる日時とエリアをお試して決めて、やってみたい。

小さな公園 活用例

山手台東公園で、地域清掃の日に
焼き芋大会などを実施。
(山手台地区住民)

上/四季をめぐるグループ(11ページ)の協力でバイオネストを設置。下/深海勝也さん(右下インタビュー)の自然観察ガイド。



「公園に行くのは、孫が帰省したときだけ」など、「こどもが遊ぶ場所」のイメージがある公園。「誰かに会える」「時間を過ごせる」場所だったらいいな、と地域のみんなで考えて、ちっちゃなイベントを作りました。

イベントで賑わいがよみがえりました

住民が高齢化し、公園で遊ぶこどもが減りました。公園でイベントをすれば賑わいがよみがえり、住民の交流もできます。かなり前から五丁目・六丁目で「何かできないか」を考えてきましたが、今回は山手台全体で「やりたい」人が集まり、「地域清掃のあとに公園で焼き芋を焼いては」などのアイデアが出て実現に至りました。

地域住民の間でも、とても好評でした。1回で終わらせず、続けていきたいです。(愛下秀毅さん)



高齢者が交流できる機会を公園でつくりたい

こどもだけでなく、高齢者が出てこられて交流する機会が大事だと思っています。焼き芋は老若男女楽しんでよかったですね。

草が伸びていたときは公園で遊ぶこどもがほとんどいなかったんですが、今日のイベントに向けて草刈りが行われた途端に、こどもが集まりました。公園の手入れは、やはり大事です。みんなで草刈りをして、終わったらお茶を飲んで話ができるような場を続けていけたらと思います。(奥村妙永子さん)



あちこちの小さな公園で交流の場があるといい

3年前に越してきて、PTAや地域での交流活動などを行っています。普段はこどもも地元の公園しか目に入らない感じなので、いつもと違う公園でこうしたことができるのは新鮮です。ボランティアで開催する行事は周知に苦労しますが、今回は市の協力があつ、小学校の広報協力も得られました。

地域には、身近な小さい公園がたくさんあります。そうした公園のあちこちで、小規模な交流の場ができるといいですね。(門司奈美さん)



自然観察で季節の移り変わりを知ってほしい

私は自然や植物が好きなので、今日は自然観察ガイドをしました。自然にあまり興味がないこどもが、関心を持つきっかけになればと思います。一度興味を持つと、はまり込むことがあるので。

3週間前に準備したときと木々が変わっているの、説明を合わせるのにちょっと困りますが(笑)、それで季節の移り変わりを知ってもらうことにもなります。この公園は広いので、ピクニックにも使ってもらってほしいです。(深海勝也さん)



自然のサイクルを助ける「バイオネスト」を公園につくりました。 (四季をめぐるグループ)

きっかけ

公園で活動したい市民が集まったワークショップで、元茨木川緑地と西河原公園のフィールドワークへ。そこで、公園にある大量の落ち葉は焼却場で処理されると知りました。

落ち葉は、木々のもとで降り積もったらやがて柔らかな腐葉土になります。腐葉土は、また新たな草木が育つための栄養となります。

「バイオネスト」を使えば、焼却されるはずだった落ち葉を腐葉土にして自然のサイクルに戻すことができるのでは…メンバーが茨木市公園緑地課に相談し、公園の木の剪定枝を用意するなど市が協力。元茨木川緑地で「バイオネスト」の実験が始まりました。

■落ち葉・枝・どんぐりなどを集めて、親子を対象とした工作イベント。

◆バイオネストを作りたい。

●どんぐり拾い。

●落ち葉を袋につめて、クッションや布団作り。落ち葉のベッドで寝たい。

●草刈りからの、はっぱ遊び。

バイオネストとは？

樹木の剪定枝などを組み合わせて「鳥の巣」のような形の囲いをつくり、落ち葉や刈った草などを継続的に投入して腐葉土を生成します。雨がもたらす水分や気温、昆虫、菌糸などによってゆっくりと分解が進みます。

茨木の植物で「しおり」をつくるワークショップも



当初からのメンバーのSさん・Kさん・Tさんが、活動をふりかえりました。

意外と簡単！バイオネストづくり

- S** ワークショップで提案したバイオネストが実際にできたときは、とてもうれしかったです。
- K** コーディネーターの伴走と市の準備のおかげでスムーズでした。みんなで作るのが楽しいです。
- S** 第1号ができたあとは何度も見に行き、雨が降らない日が続いたら水をやりたりしましたが、奥のほうは結構湿っているのでそんなに気にしなくてもよかったかも。山手台東公園での設置を手伝ったり、他にもモデル的にいくつかつくりましたね。
- T** 誰でも参加できるので、自然に関わってくれる人が増えます。ときどき見に行きたくなるのもいい点です。



枝を組んで落ち葉の入れ物を作ります。

▼バイオネスト完成！



竹橋公園で、地域発の「手持ち花火大会」が実現しました。 (竹橋町自治会・こども会)

きっかけ

地域のみなさんが「自治会に入りたくない」しかけを考えたいと思った時、「公園で手持ち花火ができる日をつくれなかな？」と、自治会・こども会で話し合いました。企画を茨木市公園緑地課に相談し、8月の夜に実現しました。



- ……手続きなしで利用できること
- ……事前に手続きが必要なこと
- ◆……地域で話し合えば実現できること



住民の交流が深まりました

マニュアルをもとに2か月後、茨木神社で小学校区の自治会合同餅つき大会が行われることに。地域のつながりが広がっています。



- ▲次回に向け、「開催マニュアル」を作ると…



地域顔見知りが増え、12月には餅つき大会も。

大きな公園、近くの公園。 いろいろなアイデアのタネに出会えそう！

「なにかできそう」
と思いながら公園を歩いたら、
いろいろなアイデアが浮かびます。

おもしろそう！
やってみたい！
…でも、それってどうやったら実現できるんだろう？



このアイデアブックに載っているのは、そんな「どうしたらできるだろう」に
チャレンジし、行政に相談したり地域で考え合ったりした事例です。

小さなことから始める。
地域で声をかけてみる。
誰かと一緒にやってみる。
施設の屋内でやってきたことを、
公園という開放された場に移してみる。



公園へ出かけてみませんか？
普段と違う、やりたいことが
浮かんでくるかもしれません。



わたしのアイデア

例：公園で「本」に関連することを何かしたい

- 公園で友達と、本を読んでおしゃべり。
- 本の販売ブースや読み聞かせコーナーがあるイベントをする。



ひとりでは難しくても、
相談したり地域で考えたりしたら
できるかも！



そこから、新しいつながりも生まれています。

少しの工夫で公園は人と人がつながる場所に
生まれ変わります。

みんなの公園を、 一緒に育てて いきましょう。



美術を展示し、昔の茨木を知るへ、
「トンネルアート」はどうか。トイレの外観も、フ
ニシ。ごみを拾いながらジョギングやウォーキング、筋トレを9
、車などが通りやすくなるよう、小径をできるだけ平らにしたい。公園で
ンプやバーベキューができるエリアをつくる。防災キャンプ。防災トイレを使い
。大木などの自然を生かした遊び場を作る。木登りできるかな。ペットボトルの船を1
。星の下、または青空の下で野外映画観賞会。公園で聞けるいろいろな音を拾う、フィールドドレ
フリーマーケットを開く。キッチンカーや屋台も来てくれないかな。地元野菜の販売会。さりげな
よ福祉マルシェをする。子どもの多いエリアで、週末駄菓子屋さん。得意な料理、飲み物でチャレンジ
ができる場所にする。レンタル自転車屋さん。スケボー可能ならレンタルスケボーも。ブースを作って、し
ろな楽器の演奏を聞き体験できる音楽イベント。謎解きウォークラリーで宝探し。あちこちに物を隠して。
観察、茨木の歴史などのテーマでクイズラリー、ゲームラリー、ポイントラリー。川端康成にあやかり、「ト
ネルを抜けると〇〇だった」シリーズ。トンネルの向こうにアート作品、ゲーム、スポーツ体験などの場を用意
して。落ち葉を袋につめて、クイズラリーや布団を作れないかな。落ち葉のベッドで寝たい。落ち葉・枝・どんぐ
りなどを集めて、親子が集まりピクニックしながら工作会、アート作品づくりなど。拾ったどんぐりを植えて、
育てる。子ども向けに。食べられる野草を探して、野外調理。バラを植えてイングリッシュガーデンにチャレン
ジ。草花や木の名前を調べて、生き物の地図づくり。落ち葉やどんぐりなど落ちてくるもののリストをつくる。木
の名前が分かったら、廃材で木の名札づくり。どんぐりで飾ると楽しい。草刈りからの、はっぱ遊び。落ち葉コ
ンポストを作る。腐葉土にして、配布か販売したい。生き物の観察、虫採り。虫の紹介や「生き物地図」づくり。
しい虫、キケンな虫を知ろう。虫の声を聞く会。朝活。ヨガ、体操、読書会、朝食会、朝コーヒーなどで目
まわろう。マイチェアかマイ座布団と弁当を持って、昼食会。かやを張ってお話会をする。もちつき大会、野
心体験などもできそう。「本フェス」の開催。本とともにゆっくり過ごす。子どもに人気のあるゲームの
子どもがお店を出す、1日子ども商店街。夏にウォーターイベント（水鉄砲、水風船など）。すべ
り大会。近所の公園でキャンプ。新鮮かも。手持ち花火大会。地域の複数の公園で一
夜会。夜のお話会。イルミネーションで飾る。大勢で集まりラジオ体操かヨガをしたら
（や投げて木製のピンを倒すゲーム）大会。健康器具のある公園で、使い方講座や
」などの企画もできそう。自動販売機を設置して、入ったお金で公園を
。景観がよくないところに柵を作れないかな。片隅に果物メ
。切り株ベンチを作ったり。ハロウィンイベ
。おた流しそうめんイベント

公園に、行ってみよう。 公園で、やってみよう。

資料 茨木市「都市公園を活用してみませんか」

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kensetsu/koen/menu/rikatsuyo/63786.html>



茨木市都市公園条例に基づく行為の許可に係る運用基準

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/material/files/group/50/unyokuziyunn.pdf>



●写真提供・協力 竹橋町自治会さん*たたらば珈琲さん*立命館 OIC モルックサークルさん

●本冊子に記載のアイデア・写真の多くと7・8・10・11 ページの事例は、令和6年度「みんなの公園 アイデア&やってみるワーク
ショップ」、令和7年度『『できる』を増やす公園ラボ』から得られたものです。参加者のみなさまに感謝いたします。(主催：茨木
市建設部公園緑地課 運営：特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット)



次なる
茨木へ。

茨木市 建設部 公園緑地課 〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号

2026年3月発行



公園緑地課
公式Instagram

編集：特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット 公園イラスト：たまきともこ